

2021年 第37回

しながわ平和のための戦争展

繰り返すまい戦争への道一子どもたちの未来のために

日時：8月13日（金）・14日（土）15日（日）

10:00～16:00 最終日は15時まで

入場無料

会場：品川区民ギャラリー（イトーヨーカドー大井町店8階）

知っていますか あの戦争のこと

品川が焼け野原になった

—小島義一さんの体験画を見て—



第1部
本土初空襲

第2部
小島義一さんの絵
で見る城南大空襲

第3部
戦争と空襲で犠牲
になったのは
(30分)

2021年8月
企画 しながわ平和のための戦争展実行委員会
構成・制作 鈴木 賢士



私達は、20年前に小平で小島さんの絵と出合いました。旧荏原区は都内で焼失面積第1位と知り、焼失地図を手作りしましたが、イメージが湧いてきません。小島さんの絵は、荏原の空襲のことが目に見える、自分の知っている地名、場所がかつてどのような状態になったのか子どもや若い人にも想像できると思い、お借りして毎年展示してきました。小島さんも毎年描きためて送ってくださり、地元の商品で使ってくださいと寄贈されました。5月には、「城南空襲を語り継ぐ会」を催し、絵の前で色々な方の証言を聞いてきました。しかし、絵は、カレンダーの裏に書かれたものもあります。劣化が心配でした。

昨年、新型コロナで戦争展を中止せざるを得なくなる中、今何ができるか考えていた時、絵のデジタル化というアイデアが出てきました。小島さんには「絵は自由に使ってください」といわれ、HPを作りデジタル化した絵とキャプションをアップし、好評でした。更に、DVDにしてナレーションをつけたら若い人にも理解しやすい、ということになり、写真家で、今までも戦争にかかわるDVDを何本も手掛けている鈴木賢士さんにお願いをしました。新型コロナ感染拡大で取材もままならない中、三部構成にしてわかりやすくまとめてくださいました。戦争を知らない若い方々に見ていただき平和を考えるきっかけにと願っています。

(しながわ平和のための戦争展実行委員会)

昨年は、新型コロナ感染が広がる中、中止としました。今年は、昨年より感染そのものは広がっていますが、感染対策をしっかりとって開催することにしました。戦争展が開けなかった1年、地域から戦争を語り継ぐ場としてHPを立ち上げ、上記のDVDを作成しました。HP上でも戦争展の展示や催しの一部を見られるようにしました。コロナ禍のなかでも、「戦争できる国へ」という動きは、「新縣コロナの報道に隠れて進んでいます。「知らなかったでは済まない。」戦争と平和について考える場を提供し続けたいと考えています。

しながわ平和のための戦争展実行委員会

1. 植民地支配下の朝鮮とベルリンオリンピック

1936年に開催されたベルリンオリンピック。孫基禎（ソンキジョン）さん（1922年8月29日生まれ、2002年11月15日没）は、2時間29分19秒の世界新記録で優勝。当時朝鮮は日本の植民地支配下にあり。表彰式では「二の丸」が掲揚され、日本の国家「君が代」が演奏されました。彼は胸の日の丸を月桂樹の葉で隠しました。

翌日、「東亜日報」は、孫基禎さんの胸の「日の丸を消して発行。日本政府の統治機構である朝鮮総督府は、直ちに関係者を処分。新聞（東亜日報）を発禁処分としました。

徴用工、日本文慰安婦問題、調整性の実施、創氏改名を行うなどの政治的経済的に支配を強め、朝鮮国内での日本政府に対する反対運動（3.1独立運動）が広まりました。

日本による朝鮮支配の実態を明らかにし、当面する課題について考えたいと思います。

2. 品川から戦争を考える—知っていますか あの戦争のこと 学童疎開ってどんなことをしていたの？

旧品川地区は都内多摩地域に学童疎開をした。当時視学官だった久米井東氏は、子どもたちの作文や絵を大量に保存し、戦後本にしています。無くなる前に「品川平和のための戦争展」とかかわりを持ち、亡くなった後、資料を譲り受けました。絵の方は、その後「品川歴史館」に寄贈しましたが、作文は私達が保存していました。今回それをスキャンし、データ化しました。その一部を読みやすく打ち直し、原文と合わせ展示しました。書きぶりから、食料を取るために働く様子、その生活は、どんなだったのだろうか。子どもたちの作文や絵を見て考えてもらえると幸いです。

東京初空襲で大きな被害

空襲というと、戦争末期と思いがちですが、真珠湾攻撃からたった半年後の1942年4月の空襲で、品川区は大きな被害を出しているのです。

城南空襲と小島さんの体験

1945年5月24日の空襲は、3月10日を超える大量の焼夷弾を落して品川を焼け野原にしました。中延に住んでいた小島義一さんは、城南大空襲の様子

70枚以上描かれました。今回は、その貴重な資料をDVD30分にまとめて公開することが出来ました。それに沿って特徴的な絵を展示しました。

3. 憲法9条を生かして平和をつくる) コロナ禍で憲法は？

この1年半、新型コロナの世界的大流行の中で、感染への不安と生活の不安に脅かされてきました。その中で、ニュースとして大きく取り上げられなかったが、「戦争できる国」にする準備は着々と進んでいます。改めて考えてみましょう。この間「憲法と緊急事態条項」「国民投票法」「土地利用規制法」大きく3つの平和憲法を脅かす法案がコロナに隠れて通されています。「知らない間に」は許されない。それらの法案は持つ意味を考えたいと思います。

4. 安保法制と基地、自衛隊の今

沖縄の基地建設が目指すもの

米国は、戦争をしてでも中国の覇権を阻止しようと同盟国を巻き込み準備を進めています。南西諸島の与那国、石垣、宮古、奄美で、自衛隊のミサイル基地などの建設が急速に進んでいます。その状況の中で強行されている辺野古の埋め立て＝新基地建設の本当の目的とは・・・？その真相に迫ります。

羽田低空飛行と横田空域

新型コロナで稼働飛行機は減っているのに、大井町上空を飛ぶ大きな機影が1時間に何機も通っていく不気味さ。横田基地と関係があるのだって？どんな関係があるの？

5. 核なき平和を目指して

原爆が投下されて76年。多くの人を苦しめ、命を奪ってきた被爆者の訴えが世界を動かしました。2017年7月7日「核兵器禁止条約が国連で採択されたのです。現在86か国が署名し、55か国が批准して今年1月22日「核兵器禁止条約」が発効しました。しかし、被爆国日本が、禁止条約に背を向けています。国民の多数が「核兵器禁止条約に参加すべき」という意思を示しています。昨年10月より日本政府に核兵器禁止条約の書名・批准を求める署名運動がスタートしました。593自治体が日本政府に対して意見書決議を上げています。「黒い雨」被爆者救済が、広島高裁で勝訴し、原告全員が被害者認定されまし

た。そして国が「上告を断念」しました。本当に長い運動によって尊厳と希望を取り戻す戦いでした。私達は諦めることなくこれからも、世界の人々と一緒に歩んでいるので夢があります。

6. 声をあげよう 私たちにできること

今は、世界とつながって「武器で平和は作れない」と声を上げる人たちの力が広がっています。平和は黙っていても守れない。表現する人たちを紹介します。

催し

8月13日(金)13:00~14:00

<映像を通して過去の事実を知る>

DVD『**知っていますか あの戦争のこと**

品川が焼け野原になった

— 小島義一さんの体験画を見て—』

制作者鈴木賢士さん挨拶と上映 約30分

8月14日(土)13:00~14:30

<講演を通して今を知る・考える>

横田基地の現状と羽田低空飛行

窪田一忠氏

(横田基地の撤去を求める西多摩の会事務局長)

8月15日(日)13:00~14:00

<子どもと一緒に平和を考える>

➤ 人形劇団みちくさ「みんなのねがい」上演

➤ バイオリン演奏「ガブリエルのオーボエ」

➤ 親子で戦争と平和を考える本の紹介

(西條明子)

展示内容と催しはHpで公開します。二次元バーコードをクリックしてご覧ください

HP <https://heiwannotameno.net/>

問い合わせは mail@heiwannotameno.net まで

